

歳出予算事業概要書

款	07 商工費	前年度	前年度	各課	調整結果額		所属課コード	2503000000							
項	01 商工費	当初予算	現計予算	要求額	うち復活額	一般財源	所属課名	商工課							
目	02 商工業振興費	1,150	1,150	1,150	1,150	0	内線番号								
大事業	060 都市エリア産学官連携促進事業						実施計画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額					
中事業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源	章		『産業』がいきいき				
小事業	00		0	0	0	0		1,150	節	地域の活力を生み出す産業のまちづ	0				
細事業	0							細節	工業の振興						
1. 事業の概要と必要性					節		本年度の財源内訳								
<p>【事業概要】地域の主体性のもと、大学等の「知恵」を活用して新技術シーズを生み出し、新規事業の創出、研究開発型の地域産業の育成を図る。平成18年4月、鳥取県が提案した「染色体工学技術による生活習慣病予防食品評価システムの構築と食品等の開発」が文部科学省に採択され、平成18年6月から事業開始。当該事業は、食品製造業が集積している米子・境港エリアの特性を生かした産学官共同研究。【参画機関】鳥取大学、県産業技術センター、民間企業10社(内、市内企業4社)【事業期間】H18~20年度</p> <p>【必要性】1. 鳥取大学の先端技術と地元企業等が有する水産バイオマスの独自技術が連携し、新産業を創出するものであり、本市への大きな経済効果と健康長寿社会の発展に大きく貢献すると見込まれる。2. 国費は地域資金の額によって決定されるマッチングファンド形式であため、地域資金の確保が全体事業費を担保する必須条件になっている。</p>					区分		金額		財源	款	項	目	節	細節	金額
					19	負担金補助及び交付	1,150								
2. 根拠法令															
3. 用地の状況															
4. 基本計画との関連															
5. 本年度の計画効果															
<p>【全体事業】平成20年度は都市エリア産学官連携促進事業の最終年度に当り、新技術と新製品が創出されることが見込まれる。平成20年度の全体事業費は110,000千円の予定</p> <p>【市負担金の効果】</p> <p>1 地域資金として積算され、文部科学省の研究委託費を確保することができる。</p> <p>2 当該事業に参画している地元企業の研究開発費を助成することにより、新技術や新製品の開発の進展を図ることができる。</p> <p>3 シンポジウム、研究交流会の開催により、研究成果の啓蒙普及と新技術新製品の販路開拓を図ることができる。</p> <p>【予算要求額】 交流事業・共同研究事業実施負担 1,150千円</p>					6. 財源の説明										
					【財源内訳】		・全体事業費 347,816千円		(H18年度	116,493千円)	(H19年度	131,755千円)	(H20年度	110,000千円)	
目的別															
性質別															